

## 新しい時代の教育実践の探究

### 2022年度『金沢大学教職大学院フォーラム』を開催

金沢大学大学院教職実践研究科（教職大学院）では、3月4日（土）に以下のとおりフォーラムを開催します。教職大学院の取組報告や同研究科で学んだ大学院生の実践研究発表を予定しています。

石川県内の現職の先生方はもちろん、県外の教育関係者や大学生・大学院生、教職大学院に関心のある方々が参加し、新しい時代の「深い学び」を共有する機会となっています。

つきましては、当日の取材・報道をお願いします。

## 新しい時代の教育実践の探究

### 2022年度『金沢大学教職大学院フォーラム』を開催

日 時：令和5年3月4日（土）13:00～16:20（受付12:30～）

会 場：金沢大学人間社会第2講義棟（Zoomによるオンライン参加もあり）

概 要 ※詳細は別紙1チラシをご参照ください。

(1) 13:00～ 全体会（教職大学院の取り組み）402講義室

(2) 13:45～ 実践発表（2年次院生）2階～4階の5講義室

※5つのグループに分かれて発表（Zoomでは5つのミーティングルームを開設）

各グループ内で3名が発表

1年次院生の動画配信による発表も並行して実施します。

※取材ご希望の場合は、3月3日（金）17:00までに別紙2取材申込書をFAXください。

※当日は、12:00～12:30で担当教員への事前取材が可能です。

事前取材を行う際は、当日12:00までに集合場所（別紙3参照）にお越しください。

<本件照会先>

金沢大学人間社会系事務部総務課 中野（なかの）

TEL 076-264-5448 FAX 076-234-4060

E-mail jinshasomu-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp

2022年度 金沢大学教職大学院フォーラム

# 新しい時代の教育実践の探究

日時

令和5年 3月4日(土)  
13:00~16:20 (受付) 12:30~

方法

ハイブリッド  
(対面とZoomによる)

場所

金沢大学  
人間社会第2講義棟

〒920-1192 金沢市角間町

全体会 第2講義棟 402講義室  
分科会 第2講義棟 2~4階講義室



金沢駅兼六園口(東口)6番乗り場「金沢大学(角間)」行き乗車、「金沢大学(終点)」下車徒歩約3分(JR金沢駅から約40分)

参加費  
無料

事前申込み必要

## プログラム

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 12:30~13:00                     | 受付 (対面 402講義室前)<br>(Zoom ミーティングルームへの入室)   |
| 13:00~13:35                     | 全体会 (教職大学院の取組)  |
| 13:45~16:20<br>(ミーティングルームごとの終了) | 実践発表 (2年次院生15名)<br>5つのミーティングルームに分かれて発表<br>・ラウンド1 (5名) 13:45~14:30<br>・ラウンド2 (5名) 14:40~15:25<br>・ラウンド3 (5名) 15:35~16:20 |

※1年次院生発表 (YouTubeによる動画配信)

写真提供: 石川県観光連盟

【主催】金沢大学大学院教職実践研究科 (教職大学院)

【後援】石川県教育委員会 石川各市町教育委員会連合会

【お問い合わせ】金沢大学人間社会系事務部総務課 TEL: 076-264-5448

E-mail: n-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp <https://pdte.ed.kanazawa-u.ac.jp>

実践発表は、グループに分かれて行います。対面での参加の場合、どのグループに参加していただくかは、以下から第2希望までお選びいただき、お申込み時にグループ名をご記入ください。オンラインでの参加の場合、当日ご希望のグループにお入りください。

※対面でのご参加の場合、参加人数の関係でグループ間の移動はできません。  
オンラインでの参加の場合、グループ間の移動は可能です。

## 実践発表内容

グループ	ラウンド	発表者	研究テーマ〈変更される場合があります〉
A	1	漆田 健 数学〔中〕 (学部卒)	中学校数学を苦手とする生徒の学習を支援する授業デザイン ～一次関数の利用を中心として～
	2	坪田 拓都 数学〔中〕 (学部卒)	思考力・判断力・表現力の育成を目指した中学校数学科の授業デザイン ～関数・図形領域におけるICT機器の活用を基に～
	3	三浦 彩 数学〔中〕 (金沢市立鳴和中学校)	中学校数学科の数学的活動における生徒によるICT活用の可能性 ～SAMRモデルに拡張的学習を取り入れた視点から～
B	1	染谷 直希 生物〔高〕 (学部卒)	高校生が環境に対して科学的に理解し論理的に説明できる授業方法
	2	高橋 大祐 数学〔高〕 (学部卒)	高等学校数学科における概念定義と概念イメージの融合を促す 授業デザイン
	3	大野 拓也 公民〔高〕 (石川県立金沢伏見高等学校)	高等学校公民科における探究学習の実践での成果と課題 ～自ら問い、自ら考える生徒の育成を目指して～
C	1	長 寛彰 社会〔中〕 (学部卒)	理解型授業における問題の改善を目指した実践研究
	2	浜田 洋平 社会〔中〕 (金沢市立大徳中学校)	多面的・多角的な思考を育成する社会科の授業デザイン ～PBL理論と足場かけを用いて～
	3	角 亜紀子 国語〔小〕 (小松市立月津小学校)	物語を理解し、自分の考えを持つための言語技術の学習プロセス
D	1	松岡 歩実 外国語〔小〕 (学部卒)	自分の考えや思いを表現できる子どもを育成する小学校外国語の 授業デザイン
	2	柳澤 志貴武 美術〔特・中〕 (石川県立いしかわ特別支援学校)	思い付きを育てる美術の授業デザイン
	3	中屋 順子 (石川県立小松特別支援学校)	個業から協働への変革を促す学年主任のリーダーシップのあり方 ～中規模特別支援学校の学年会を中心とした取り組みを通して～
E	1	北川 直美 (石川県立羽松高等学校)	「支え合い・共に生徒を見ていく」校内体制づくり ～小規模校における「生徒理解の会」の取り組みを通して～
	2	小町 成美 (珠洲市立直小学校)	サードプレイスの機能を有する若手教員早期育成プログラムの構築
	3	田中 天真 (宝達志水町立相見小学校)	若手の成長をサポートする若プロコーディネーターの役割 ～若プロ校内研修及び日常的な関わりを通して～

■ : 学習デザインコース    ■ : 学校マネジメントコース

お申込み  
方法

参加を希望される方は、Webサイトの専用フォームからお申込みください。

<https://pdte.ed.kanazawa-u.ac.jp/forumregisterr5>

**【申込み締切】 令和5年2月24日(金)**



取材を希望する場合は、本申込書を  
**3月3日（金）17：00までに**  
**下記の宛先へ送付してください。**

金沢大学

人間社会系事務部総務課

FAX：076-234-4060

申込日：令和5年3月 日

## 2022年度『金沢大学教職大学院フォーラム』取材申込書

報道機関名： \_\_\_\_\_

取材記者名： \_\_\_\_\_ 様

連絡先： \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )

同行者（カメラマン等）： \_\_\_\_\_ 名（上記記者を除く）

カメラ等の内訳（台数）： \_\_\_\_\_

(例) テレビカメラ 1台

**取材を希望する日時に、を記入してください。**

**【担当教員への事前取材】**

日 時：令和5年3月4日（土）12時00分から12時30分まで

集合場所：人間社会第2講義棟402講義室前

**【フォーラム】**

**全体会（教職大学院の取り組み）**

日 時：令和5年3月4日（土）13時00分から13時35分まで

受付場所：人間社会第2講義棟402講義室前

**実践発表（2年次院生）**

日 時：令和5年3月4日（土）13時45分から16時20分まで

会 場：2～5階の5つの講義室

※ 新型コロナウイルス感染症予防対策として、来場の際は、**検温の上、マスクの着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）及び手指消毒の励行等に御協力ください。**

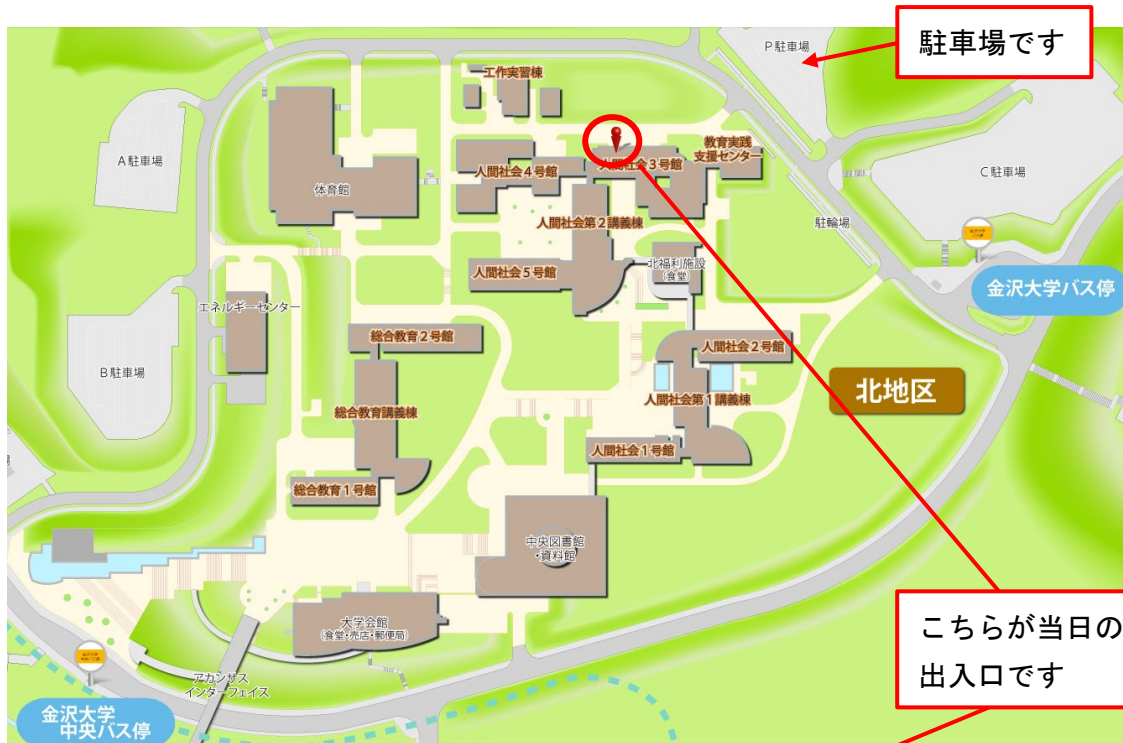
また、**取材記者・同行者数も最少人数**となるように御配慮をお願いします。

担当：金沢大学人間社会系事務部総務課 中野

TEL：076-264-5448 FAX：076-234-4060

MAIL：jinshasomu-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp

集合場所案内図



正面から見た図

入ってすぐ右に行くと階段とエレベーターがあります。  
4階まで上がります。



4階に着いたら左図のとおり進んでください。  
★のあたりで対応する予定です。